

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 神経性やせ症の治療にピアサポーターが与える効果の検討</p> <p>●研究の対象 2013年4月～2023年3月に当院精神科にて神経性やせ症の治療（入院・外来）を受けられた方 30名</p> <p>●研究の目的 神経性やせ症の患者は日本で増加しており、効果的な治療法の確立が求められていますが、世界的に見ても有効な方法が確立されていません。近年、様々な分野で疾患や障害を抱える当事者が支援に加わるピアサポート活動が注目されています。既に、統合失調症やアルコール依存症・薬物依存症の支援では広く活躍しています。しかし、神経性やせ症の治療におけるピアサポーターの有効性や、活動を通じたピアサポーター自身の変化についての報告はありません。そこで、本研究は、神経性やせ症の患者さんに対し、回復傾向にあるピアサポーターと協同したグループセラピーを行い、その効果を検討します。その際、過去に従来の治療を受けた神経性やせ症の患者さんの診療録からのデータを集め、比較検討を行います。この研究を通じ、ANの治療に有効な新たなアプローチの提言を目指します。</p> <p>●研究の期間 2018年6月から2023年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の 項目</p>	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：学歴、職歴、婚姻歴、年齢、飲酒歴、喫煙歴、薬物使用歴、精神科併存症、既往歴、家族歴、成育歴、月経、</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	知的水準のスコア、BMI、Eating Disorder Instrument -2（摂食障害の症状についての主観的評価）
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 浜松医科大学 医学部精神医学講座 山末英典
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話またはFAX でお願ひします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：精神科神経科 担当者：望月洋介 TEL：053-435-2635 FAX：053-435-3621